

運営推進会議記録

開催 日時	平成 26 年 6 月 17 日 (火) 15 時 00 分 ~ 16 時 00 分	場 所	株式会社グラフィス 大阪支店会議室
参加者	町会長、北区地域包括支援センター介護支援専門員、北区大淀地域包括支援センター社会福祉士、(株)ひかり介護介護支援専門員、(株)ハート介護サービス本店長、社会福祉法人幸聖福祉会 藤ミレミアム施設長、グッドライフケア 24 大阪管理者、グッドライフケア 24 大阪オペレーター 2 名、グッドライフケア訪問看護ステーション大阪看護師 1 名、グッドライフケア居宅介護支援センター大阪北 1 名 計 11 名		
<p>○9 月～5 月現在の利用者数等の報告を行う。</p> <p>○第二回・第三回で発表した事例 3 例に関して、まとめの報告</p> <p>○北区内での弊社の状況</p> <p>○他区からの問合せと今後の方向性</p> <p>○弊社、東京の現状報告</p>			
<p>活動内容等の評価</p> <p>①北区内での弊社の状況、②今後の方向性、③弊社東京での現状報告</p> <p>①利用者数は 150～160 名、半径 1Km 範囲では 100 名の利用者様がいるが、定期巡回随時対応の該当者は、いない状況。</p> <p>②西淀川区、旭区、浪速区からの問合せがあったが対応出来ない。現在、緊急コールシステムを 2 年程前からスタートさせているが、地域から支持されてきている。このサービスを基盤とし、地域密着型サービスである定期巡回随時対応訪問看護看護を中核になるサービスに充実展開させていくようにする。</p> <p>③当社の東京では、平成 24 年 9 月からサービス開始しているが、この 1 年での新規増加件数は毎月平均で 4 件。 1 日あたりの定期巡回訪問件数の平均は 3 回。内容は身体介助 82%、生活援助 18%の構成。サービス継続期間は平均 3.7 ヶ月。現在 5 区にて事業所展開を行なっている。</p>			
<p>要望・助言内容</p> <p>Q,報告のあった事例に関して、居宅の介護支援専門員は自社だけなのか、近医との連携も上手くいっていたのか。</p> <p>A,居宅介護支援専門員は、今までは自社のケアマネの事例しか無いが、自社でなくても問題ない。主治医は、ターミナルの事例は訪問診療であるためすぐの訪問が可能であったし、他の事例では定期的に受診している近医が主治医であったので問題なかった。</p> <p>Q,サービス対象範囲は。 A,概ね半径 1.5Km の範囲で行なっている。</p> <p>【助言】施設との連携も取っていかねばならないと思う。今後、施設から在宅のパターンも考えられるとの助言あり。</p> <p>Q,他事業所の居宅介護支援専門員なら、緊急時に連絡がとれにくいのではないかと。主治医も連携できていなければどうするのか。</p> <p>A,委託先の訪問看護事業所と連携を行う。しかし、できれば在宅医療ができる医師(訪問診療医)の方が連携しやすい。</p> <p>Q,東京と大阪の人員配置はどのようになっているのか。</p> <p>A,東京は各区において深夜オペレーター 3 人、夜朝ヘルパー 3 人と協力しながら計 6 人。大阪は深夜オペレーター 1 名平均で行なっている。</p> <p>Q,東京の居宅介護支援専門員の依頼先は自他どちらが多い。 A,自社が多い。</p> <p>Q,通常のサービスと定期巡回随時を比較した場合、費用はどのくらいの違いがあるか。 A,かなり利用者様が優遇される。</p> <p>Q,町会に宣伝してもいいのか。</p> <p>A,町会長の立場で問題なければ、ぜひお願いしたい。紅梅町なら 10 分程度で訪問が可能である。</p> <p>Q,夜間の看護師が巡回するのはどのような時に巡回するのか。</p> <p>A,夜間の看護師は、定期巡回ではなく、随時である。オペレーター及びヘルパーが判断出来ない場合に助言、訪問をしている。</p> <p>Q,医療との連携で病院の方にも参加いただくのは良いことでは。 A,病院の地域連携室にサービスの内容説明に伺っている。</p>			
事業所名	グッドライフケア 24 大阪	記録作成者	平成 26 年 6 月 17 日 沢 稔之

※ 原則として会議開催後 2 ヶ月以内にこの記録を作成・公表すること

※年度ごとの報告用

運営推進会議報告書（平成 25 年度分）

平成 25 年 9 月 19 日（木）	15 時 00 分 ～ 16 時 10 分	開催場所	グラフィス大阪支店会議室
参加者 9 人（■職員等 5 人、□利用者 人、□家族 人、■地域代表 2 人、■地域包括支援センター 2 人）			
主な議題（要望・助言等） 会議開催についての趣旨説明、制度の仕組み説明、事業内容の説明、オペレーションシステムの説明 地域に対してのアピールはどのようにしてゆくのか。の質問を得る。			
平成 25 年 12 月 17 日（火）	16 時 00 分～17 時 15 分	開催場所	グラフィス大阪支店会議室
参加者 8 人（■職員等 5 人、□利用者 人、□家族 人、■地域代表 1 人、■地域包括支援センター 2 人）			
主な議題（要望・助言等） 現状報告と事例についての紹介・説明。 要支援・要介護の違いが解らない。 町会の中では、他の事業所もあるが地域として行っていく上でどのような違いがあるのか。の質問を得、返答した。			
平成 26 年 3 月 18 日（火）	15 時 00 分 ～ 16 時 00 分	開催場所	グラフィス大阪支店会議室
参加者 10 人（■職員等 6 人、□利用者 人、□家族 人、■地域代表 1 人、■地域包括支援センター3 人）			
主な議題（要望・助言等） 現状報告と事例についての紹介・説明。 家族との連携がとれていればなぜ定期巡回随時サービスを利用するのか。 良いサービスであるのにもっと宣伝すればいい。等の意見について回答した。			
平成 26 年 6 月 17 日（火）	15 時 00 分 ～ 16 時 00 分	開催場所	グラフィス大阪支店会議室
参加者 11 人（■職員等 5 人、□利用者 人、□家族 人、■地域代表 1 人、■地域包括支援センター2 人、■他事業所 3 人）			
主な議題（要望・助言等） 現状報告、弊社東京での現状報告、今までの事例まとめ、問い合わせ先、今後の方向性の説明。 サービス範囲の確認。費用の違い、東京での人員配置、夜朝深夜帯での看護師の対応。 施設との連携強化について質疑応答をおこなった。			
年 月 日（ ）	時 分 ～ 時 分	開催場所	
参加者 人（□職員等 人、□利用者 人、□家族 人、□地域代表 人、□地域包括支援センター）			
主な議題（要望・助言等）			
年 月 日（ ）	時 分 ～ 時 分	開催場所	
参加者 人（□職員等 人、□利用者 人、□家族 人、□地域代表 人、□地域包括支援センター）			
主な議題（要望・助言等）			
年 月 日	事業所名	報告者名	